

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	心タンポナーデに対する心膜開窓術における監視下麻酔管理の検討
研究責任者	聖隷浜松病院麻酔科 日比野 世光
研究実施体制	研究責任施設 聖隷浜松病院麻酔科
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2024年3月31日
対象者	2016年1月から2020年12月までの間に聖隷浜松病院で希釈レミフェンタニル(10 μ g/ml)を用いて監視下麻酔管理にて心膜開窓術を行った患者さん。
研究の意義・目的	心膜開窓術は心タンポナーデに対し行われる手術ですが、心タンポナーデの患者さんは往々にして循環動態が不安定です。そのような患者さんに全身麻酔を施行すると循環抑制により高度の低血圧に陥ることも珍しくありません。そのため、必要最小限の麻酔薬で自発呼吸を温存しながら行う監視下麻酔管理は高度な麻酔技術が必要ですが、循環抑制は全身麻酔に比べ軽微なため、心膜開窓術の麻酔管理として血行動態維持の面で全身麻酔よりも有用な可能性があります。そこで、当科で監視下麻酔管理を行った心膜開窓術の症例について後方視的に検討を行います。
研究の方法	【研究デザイン】後ろ向き観察研究 【方法】対象患者について、既存の麻酔記録、診療録を遡及的に調査し、後方視的に検討します。また、麻酔記録、診療録から以下の項目の調査を行います。年齢、性別、身長、体重、既往歴の有無(高血圧、冠動脈疾患、心不全、耐糖能異常、抗凝固薬使用、抗血小板薬使用)、ASA-PS、入室時 New York Heart Association(NYHA)心機能分類、麻酔法、気道確保法、導入薬、維持薬、区域麻酔の種類、先行手術からの日数、先行手術分類(大血管/弁膜症/虚血性心疾患/先天性心疾患)、手術時間、麻酔時間、術中最低収縮期血圧、導入時の収縮期血圧の低下幅、昇圧薬の投与速度と総投与量、術中最低 SpO ₂ 、術中輸液量、術後の低酸素(90%以下)の有無、術後疼痛スケール(Numerical Rating Scale, 以下 NRS)、術後嘔気嘔吐(postoperative nausea and vomiting, 以下 PONV)、ICU 滞在日数、術後一年生存率。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。

問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 麻酔科 日比野 世光 TEL:053-474-2222(代表) 9:00~17:00 平日
---------	---